

1. 知事の政治姿勢について

(2) 福岡県水道ビジョンについて



昨年 12 月の国会で「改正水道法」が可決成立しました。

人口減少に伴う水道料金収入の減少、水道施設の老朽化の進行・更新の遅れ、水道事業に携わる職員数の減少、自然災害による水道被害の多発など、水道事業を取り巻く環境は厳しいものがあります。

このような中、福岡県においては水道の基盤強化を実現し、安全・安心な水道水を安定的に供給していくための「福岡県水道ビジョン」策定が今回議案上程されました。

そこで知事に伺います。

1 点目は、本県における広域連携の事例と県の果たした役割についてお答えください。

2 点目は、改正水道法は、都道府県の責務を明確にし、「都道府県は水道事業者等との間の広域的な連携を推進するよう努めなければならない」としています。今後県として、これまで以上の強いリーダーシップをどのように発揮されるつもりなのか、加えてその発揮手法についてお尋ねします。

3 点目は、福岡県水道ビジョンの中で、「給水量の見通しとして、将来的には、県全体では人口減少の影響が大きくなり給水量は減少していくことが考えられる」とあります。

表現通りに給水量が減少した場合、これまで本県をはじめ各市町村が苦勞して確保してきた水源はどのようになるのか、また人口減少で生じた水は、危機管理を含めた水の融通等として活用可能であるのかお尋ねします。

4 点目は、今回の福岡県水道ビジョンが、今後の県民生活の安定・安全・安心の礎となり、また未だ解決に至っていない「春日・那珂川水道企業団」の水問題解決に役立つことを大いに期待します。これらのことを含めて、水道ビジョンの実現に向けての知事の決意をお聞きし、この項の質問を終わります。

【知事の答弁】

広域連携について、県は、これまで、ブロック毎の検討会の開催や個別の協議を通じて、広域連携に向けた具体的検討を行うよう、各水道事業者に促してきたところである。

その結果、田川地域においては、関係者の大変な熱意と尽力により、田川地区水道企業団とその構成団体である1市3町が、平成31年4月に統合する予定となっている。

田川地域の取組みが先行的な成功事例となるよう、県としては、

- ①1市3町の首長に対して、統合の経営上のメリットについて説明し、
- ②統合準備会等において、水道の広域化に係る全国の先進事例の情報提供や企業団及び1市3町が策定した経営戦略について助言を実施し、また、
- ③企業団及び田川市とともに厚生労働省を訪問し、統合した場合の国の財政支援について要請をする、

など、積極的に助言や支援を行ってきたところである。

今回の水道法の改正により、都道府県に広域連携推進の努力義務が明確化されたところであり、今後より一層、水道の広域連携を推進していくため、田川地域をモデルケースとして、広域連携の動きが他の地域にも広がっていくよう、水道事業者に対し、助言、支援や調整を積極的に行っていく。

広域連携を進めるにあたっては、水道事業者間の水道料金や経営状況の格差、広域化に対する考え方の相違など事業者間の調整が必要となる。

また、広域連携については、統合、施設の共同化、共同委託など様々な手法がある。

このため、広域連携に関する協議の場を積極的に設け、連携に取り組む水道事業者の組み合わせ、連携の内容、施設の整備等具体的な広域連携のあり方を検討していく。

水資源に恵まれず、渇水に苦しんできた本県では、ダム建設を中心とした水資源の開発を進めてきた。

平成30年3月の五ヶ山ダム、伊良原ダムの完成及び31年度末予定の小石原川ダムの完成により、水の安定的な供給が可能となる。

今後、40年、50年という長期的な見通しに立てば、人口減少に伴う給水量の減少が見込まれるが、近年、少雨化傾向とともに、多雨年と少雨年の差が大

きくなるなど異常気象の影響が懸念されている。

このため、ダムや海水淡水化施設など、これまで開発してきた水源については、渇水時において、水道用水を安定的に供給するのみならず、利水者間の調整を行って、かんがい用水や工業用水など確保するためにも必要であると認識している。

福岡県水道ビジョンは、本県水道の理想像を提示し、その目指すべき方向性、実現方策を示すことにより、水道の基盤強化を実現しようとするものである。

また、県内の各水道事業者は、福岡県水道ビジョンを踏まえ自らの水道ビジョンを定め、その内容の実現に向けた取り組みを積極的に進めることとなっている。

県としては、福岡県水道ビジョンの策定により、水道施設の更新や耐震化等を促進するとともに、水道の広域連携を積極的に推進し、水道事業者の経営基盤の弾化を図っていく。

また、春日那珂川水道企業団も含め、各水道事業者が将来にわたり安全な水を安定的に供給し続けることができる水道の実現に努めていく。